無所属　市議会議員（3期目）

2021年早春

すだ和（むつみ）のわくわくねっとニュース

新型コロナウイルス感染症と緊急事態宣言のもとで

尼崎市議会「緑のかけはし」
〒660−8501 尼崎市東七松町1−23−1
議員室電話：06−6489−6950
電話：080−5333−0242
info@suda-mutsumi.com
南武庫之荘在住 / 元 女性センター・トレピエ所長
Facebook ページ：
https://www.facebook.com/sudamutsumi/

尼崎市議会議員 すだ和の公式サイト
http://suda-mutsumi.com/

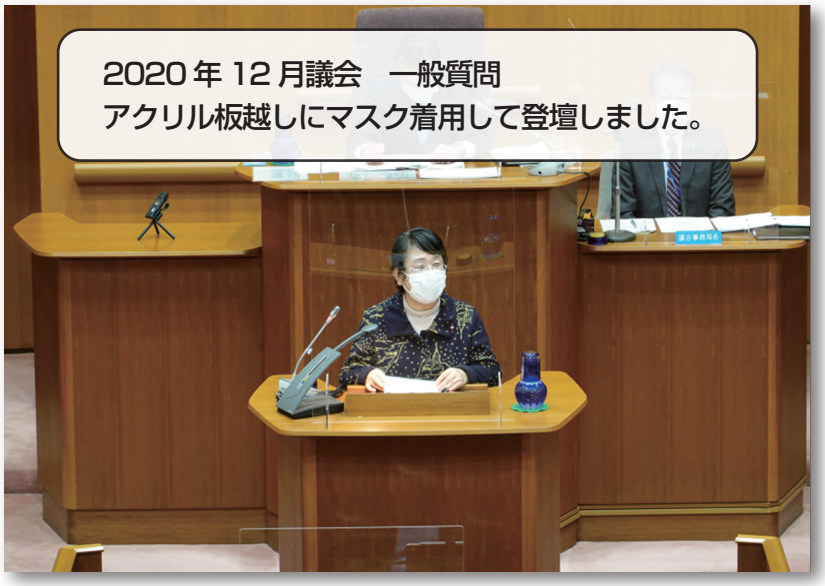
●すだ和のわくわくねっとニュース他の発信物は、すべて自費で製作し、お届けしています。

2021年、コロナ禍であろうがなかろうが、市民は生活する者、事業者はみんなのために働いてくださっている、子ども若者は未来をつくり、高齢者は貢献してくださっていた方々…という視点で市に提案していく議員でありたい。

すだ和は、政党や政治団体には所属していません。「無所属」だからこそできることを活かし、市政に関する課題について、みなさんの声を聴き、調査し、考える姿勢を貫きます。

新しい年は、いっそう市民のみなさまと共に…。

2017年6月施行　尼崎市議会議員選挙ポスター



新型コロナウイルス感染症対策のために１月現在で、第１４次補正予算（３億８千万円）が市長から提出され、の議決しました。中に、市民生活への支援の強化として、感染予防対策を講じながら不安を抱えて出産した母へ支給する５万円の「出産特別給付金」の給付対象児童の出生日の期間を「１２月３１日まで」から「令和３年３月３１日まで」に延長することによる４千４百万円の予算が含まれています。１２月議会ですだ和の提案の一つです。

須田 和　　９月・12 月議会での質問項目

●2009年議員就任以来、すべての「一般質問」に登壇しています。

◆ 9月議会

1 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取組について
　(1) 公共施設の事業中止等について
　(2) 避難所の運営について
　(3) 市民の生活への影響に関する調査について
2 審議会等に参画する女性の割合について
3 父親も含む「産後うつ」対策について

◆12月議会

1 新型コロナウイルス感染症拡大期における市民の課題やニーズに応えた取組について
　(1) 市庁舎、公共施設等の感染防止対策について
　(2) 生涯学習・社会教育事業の実施と市民の参画・参加について
　(3) 生活困難な状況にある市民への対策等について

注目「コロナ失職、解職など、雇用における女性問題が浮き彫りになっている現状について市はどのような見解をもっているのか」と問いました。総合政策局長の答弁は「女性センターで実施している女性相談においても、新型コロナウイルスの影響により、『勤務日を減らされた。』、『アルバイトを解雇された。』といった労働に関する相談が寄せられている。新型コロナウイルスの影響により経営状態が悪化した場合、非正規雇用者が解雇されることが多く、また、緊急事態宣言下における学校休校時には、育児のために出勤日を減らす、または退職せざるを得なかった方もある。非正規雇用者には女性が多く、育児や介護、家事を担うのも女性が多いことから、女性の方が男性よりも、より顕著に影響が及んだものと考えている。これらの問題の解決には、根強く残る固定的な性別役割分担意識とそれに基づく社会的慣行を見直すことが必要であり、引き続き男女共同参画社会の実現に向けた 取組を推進していく。」

議会中継（録画）
すだ和の登壇を、
ぜひ視聴してください。

立花福祉会館利用後、感染防止対策のための除菌消毒をする、落語家•僧侶の露の団姫（つゆのまるこ）さんと。

▶ 昨年５月、私信に書いた文章です。「長期化した自粛、緊急事態宣言のもとで、不安なお気持ちとお察しします。私も同じです。落ち着かない気持ちの中で、恐怖に取りつかれることや、他者へ不寛容にならないように、つながりを大切にして乗り越えたいと思います。検査・医療の最前線の方々、日常生活を守るために働いてくださっている方々に心からの感謝をこめて」▶第３波と呼ばれる感染拡大となり、再びの緊急事態宣言が発令されました。市民のみなさまに正確な市政情報の発信をしていきたいと思います。（和）